

萬世大路

東北中央自動車道 (福島～米沢北) 通信

第64号 平成28年11月 発行



工事紹介 ぱーと49

米沢市万世地内において、高速道路の舗装工事を行っています。

舗装はいくつもの層で構築されており、「凍上抑制層」といわれる層は米沢のような寒冷地特有で、冬の寒さ(霜柱)などが路床を浸食しないように一般の舗装に比べひとつ多く層が設けられています。舗装厚は1～8cmで施工場所により設定値が変化します。

※道路の構造は、場所によって異なります

◇梓山地区舗装工事

受注者:小国開発(株)
工期:H28年6月～H29年1月

◇刈安地区舗装工事

受注者:小国開発(株)
工期:H28年6月～H29年1月

両工事ともコンクリート舗装をする工事です。
(通常のアスファルト舗装に比べ耐久性が高い)

連続鉄筋コンクリート版(25cm)	材料:(コンクリート)
アスファルト中間層(4cm)	(アスファルト)
路盤(15cm)	(碎石)
凍上抑制層(1～8cm)	(碎石)
路床	(土砂)
路体(盛土区間)	(土砂)

←
道路の構造



その①↑路盤工

碎石をグレーダーで敷均します。



その②↑フライムコート(乳剤散布)

路盤の養生、アスファルトとの接着性を確保。



その③↑アスファルト中間層

ローラーを用いて締固めを行います。



その④↑鉄筋組立

コンクリート舗装のための鉄筋を組立ます。スリップフォーム工法による施工。



その⑤↑コンクリート舗装



その⑥↑舗装完了

下り車線分のみの舗装となっていますが、上り車線分にも同じ厚さのコンクリート舗装を施工します。



表層といわれるコンクリート舗装の表面は「連続鉄筋コンクリート舗装」を採用しています。横方向の目地を少なくすることで、完成後の車両の走行性が向上(振動、騒音の低減)します。



スリップフォーム工法とは...

スリップフォームペーバと呼ばれる舗装機械に生コン車からのコンクリートを流し込みます。この舗装機械は自動制御装置によって一連の舗装工程を連続施工できる機能が備わっています。



従来の舗装では、型枠を設置してその中にコンクリートを流し込む作業を行っていました。しかし、今回の工法では型枠が不要となるため工事の省力化、および工期短縮ができる技術です！



Q.舗装表面のこの隙間なあに？

A.これは「カッター目地」といいます。コンクリートは、収縮や膨張が原因でひび割れが発生します。その際にひび割れ位置を誘発し、一ヶ所に集中させる目的で作られます。



現場のエキスパート

～梓山地区舗装工事～



現場代理人/監理技術者(兼務) 現場員
小国開発(株) 丸川 則宏 さん 阿部 恵介 さん

～刈安地区舗装工事～



現場代理人/監理技術者(兼務) 現場員
小国開発(株) 柿崎 清隆 さん 山口 天 さん

刈安地区舗装工事、梓山地区舗装工事両工事とも、舗装用の施工機械を多数使用して施工を行っていますので、作業者が施工機械との接触により被災しないよう建設機械の合図、誘導を重点に施工を行っています。

また、品質に関しては開通後の通行車両が快適な走行ができるように最終仕上がり面の平坦性を良くする施工方法を採用しています。平坦性とは舗装面の凸凹の度合いを表す数値のことです。その数値が1.5mm以下であれば平坦性が良いとの判断になります。2年前の工事では0.9mmという非常に良い結果が得られておりますので今回もその結果同等以上の結果を目指し、現場一丸となり工事をすすめております。

ご意見・お問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局
山形河川国道事務所 米沢監督官詰所

〒992-0011 山形県米沢市中田町260-2
TEL : 0238-37-5570 FAX : 0238-37-5575
<http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/banseitairo/banseitairo.html>

